

# 第3章

# 愛情を そそぐ

## パパの積極的な育児参加で 子育ての楽しさが二倍

### 育児の大変さ痛感

材木町に住む三浦友敬さん(32)、真理子さん(33)、大人くん(2つ)、夕乃ちゃん(7カ月)家族。夕乃ちゃんの誕生から二カ月間、友敬さんは育児休暇を取りました。長男の大人くんが生まれたときは、仕事が忙しいこともあり、子育てのほとんどを真理子さんに任せていたという友敬さん。夕乃ちゃんの出産直前、転勤や引越



「ジャンプ」。お父さんお母さんに囲まれて、元気に遊ぶ大人くん。

に加え、真理子さんの入院なども重なり家族の生活はてんてこまい。真理子さんの体調を気遣って、二カ月間の育児休暇を取ることを決めました。前例の少ない男性の育児休暇でしたが、友敬さんが勤務する岩手南部森林管理署は快く休暇を承諾してくれました。

朝五時半に起きて朝食を準備、九時には掃除と洗濯。十時には大人くんの散歩。お昼を食べさせたらお昼寝。つかの間の休息後、夕飯の支度を始める毎日です。「一日がこんなに早く終わってしまうとは思っていませんでした。子育ての大変さを初めて痛感しました」と振り返る友敬さん。

わが子でありながら、いまひとつ意思が通じ合わなかった友敬さんと大人くん。しかし、友敬さんが積極的ににかかわり、たくさん話し掛けることで大人くんのしぐさから「どうしたいのか」が理解できるようになり、そのころから大人くんの話す言葉もぐんと増えたといいます。

### 子育てが楽しみに

「子育てが楽しくなった」と笑顔で話す友敬さん。仕事に復帰してから



三浦友敬さん、真理子さん、大人くん、夕乃ちゃん / 材木町

### interview

東北森林管理局  
岩手南部森林管理署  
遠野支署長  
大菅 晴信さん



子育ても大事な仕事ですから、育児休暇中は職場に遠慮することなく育児に専念できるよう、みんなの後押ししました。まだ若い職員がたくさんいますから、次に続く人も育児休暇を取得しやすいような職場の雰囲気づくりを心掛けたいです。

は一緒に過ごせる時間が減ったものの、積極的に子育てに参加しています。それまでは育児の悩みを一人で抱え込むことがあったという真理子さん。「日々変わる子どもの成長を夫と二人で共有できる幸せを感じます」と話します。二人の愛情に包まれて、大人くんと夕乃ちゃんはすくすく育っています。

●育児休暇制度：産休終了の翌日から、満一歳の誕生日の前日まで夫婦のどちらかが取得できる。申請により「社会保険免除」や「育児休業給付金」「育児休業者職場復帰給付金」を受けられることもある。

出産と子育ては  
家族や地域みんなで  
支えるもの。  
子どもに注ぐたくさんの愛情は、  
母親の不安と負担を解消し、  
家族の明るい笑顔が広がります

## たくさんのお手にと支えられて 笑顔がいっぱいの毎日

### 家族がいる安心感

宮守町の佐々木優太さん(24)、千鶴子さん(24)、栞南ちゃん(1つ)家族。昨年七月の結婚を機に、優太さんの父・利幸さん(46)、母・真紀子さん(46)、祖父・利一さん(73)、祖母・千歳さん(68)、弟・充さん(21)、妹・幸恵さん(17)と一つ屋根の下で暮らしています。

優太さんはトラックの運転手をしているので、仕事を終えて家に帰って来る時間はまちまち。時には、会社や車で寝泊まりし、そのまま次の仕事に出掛けることもあります。優太さんが不在の間、たくさんのお手にと支えられて見守ってくれています。

優太さんの両親も会社勤めをしているので、平日の日中は利一さんと千歳さんが栞南ちゃんのお世話をしてくれます。十年前までは型枠大工として東京方面に出稼ぎに出ている利一さんは、孫の優太さんや充さん、幸恵さんが小さいときにあまりお世話ができなかったそう、「今は栞南ちゃんの成長が一番の楽しみ」と目を細めます。

栞南ちゃんはいっただって家族みんなの注目の的。家族が仕事や学校から帰ってくると、順番に栞南ちゃんをかわいがってくれます。「栞南ちゃんが生まれてから、家の中が明るくなった」と家族みんなが口をそろえます。

優太さんは「家族のみんながいるから、安心して仕事ができる」、千鶴子さんは「掃除や洗濯、食事の後片付けなど家事で忙しいときも、必ず誰



佐々木千鶴子さん、栞南ちゃん / 宮守町

かがいるので安心です」と笑顔で話します。

### 子育ての安心感

普段は仕事が忙しい優太さんも、家に帰れば栞南ちゃんのお世話を夢中。抱っこしたり、お風呂に入れたり、おむつを交換したりなど、積極的に子育てにかかわります。毎日、子育てや家事に忙しい千鶴子さんを気遣い、休みの日には一日中栞南ちゃんの世話をし、千鶴子さんを自由にさせてあげることがあるそうです。

こうした家族の支えと子育ての安心感があるからでしょう。千鶴子さんのお腹には新しい命が宿っていて、来年三月には第二子が誕生する予定。「大変なこともあるけれど、可愛いから子どもは何人でもほしい」と千鶴子さん。

みんなと仲良くできる優しく明るい子に育ってほしい。二人が願うように、たくさんのお手にと支えられて、栞南ちゃんは伸び伸び育っています。

「パパママ教室」に参加した、これから出産を迎える夫婦に聞きました

### interview インタビュー



菊池 剛さん(32)  
幸江さん(29)  
土淵町

お風呂の入れ方などを体験しているうちに「もうすぐ親になるんだな」という実感がわいてきました。家族や周りの人の協力を得ながら、無事に元気な子どもが生まれてきてほしいです。



菊池 暁さん(28)  
浩美さん(29)  
松崎町

普段から荷物を持ってあげたりはしていましたが、重りをつけて妊婦体験をしてみても妻の大変さが分かりました。不安もありますが、無事に子どもが生まれてくることを願っています。